


『マルホランド・ドライブ』 原題 <i>Mulholland Drive</i>		執筆: 清水 純子
		2001 年
制作国	アメリカ、フランス	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ: 監督: デイヴィッド・リンチ/ 製作総指揮: ピエール・エデルマン/ プロデューサー: メアリー・スウィーニー、アラン・サルド、ニール・エデルスタイン、マイケル・ポレイル、トニー・克蘭ツ/ 脚本: デイヴィッド・リンチ / 撮影: ピーター・デミング/ 音楽: アンジェロ・バダラメンティ/ 美術: ジャック・フィスク編集: メアリー・スウィーニー/ 衣装 (デザイン): エイミー・ストフスキー/</p> <p>キャスト: ナオミ・ワッツ: ベティ・エルムス、ダイアン・セルウィン/ ローラ・ハリング: リタ、カミーラ・ローズ/ アン・ミラー: ココ (ミセス・ルノワ)、ココ (アダムの母親) / ジャスティン・セロー: アダム・ケシャー/ ダン・ヘダヤ: ヴィンチェンゾ・カスティリアーニ/ ロバート・フォスター: ハリー・マックナイト刑事/ レベッカ・デル・リオ: レベッカ・デル・リオ/ ミシェル・ヒックス: ニッキー/ メリッサ・クライダー: ウィンキーズのウェイトレス/ リー・グラント: ルイズ・ボナー/ メリッサ・ジョージ: カミーラ・ローズ/ チャド・エヴェレット: ウディ・カツツ/ パトリック・フィッシュラー: ダン/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	146 分	
ストーリー	<p>真夜中のマルホランド・ドライブの事故車から脱出した黒髪の美しい女が、放心したように歩きまわり、無人の豪邸に忍び込み寝入る。そこへ留守宅を預かる女優志願のベティが到着し、リタと名乗るこの美女を叔母の友人だと勘違いする。怪我をして記憶喪失のリタに同情したベティは、リタをかくまう中には愛し合う関係になる。ベティはリタの記憶を戻すために協力するが、女の死体を見つけ、現実とも悪夢ともつかない恐ろしいことが次々と身にふりかかる。映画監督と偶然恋仲になったリタは、ベティを追い抜いて主演女優の座を獲得する。ベティが最後に見るのは恐ろしい自分の姿だった。</p>	
時代設定	特定されない現代	
場所	ハリウッド、ハリウッド近くのマルホランド・ドライブ。	
社会背景	ハリウッド映画界の商業主義のきらびやかさとその裏に潜む危うさと犯罪	
文化的背景	競争の激しいハリウッド映画界、実力だけでなくコネと運がものをいう世界、	

	夢と悪夢の交差する映画界。
使用言語	英語(標準的)
テーマ	監督のディヴィッド・リンチは、「完成された映画について言葉で説得力を与える世界に逆戻りすることは不可能、映画は見る人の受け取り方によってちがうのでテーマは各人が主体的解釈をしてほしいので語らないことにしている」と言う。主観的にとらえるならば、夢と悪夢の世界（夢を売るハリウッドの悪夢、ハリウッドの夢に踊らされる人間の錯乱した意識）であろう。
みどころ	監督のリンチは「映画は様々な要素の集大成なので全編がみどころ」という。主観的にとらえれば、夢と悪夢の交差する妖しさが魅力である（ベティが同時にダイアンである、ベティとリタの役割と位置づけの不可解な入れ替わり、ベティとリタの同性愛の悪夢、リタのマルホランド・ドライブからの深夜の逃走、深夜の仮想現実を売り物にする劇場、夢を売る産業ハリウッドの悪夢）、女優志願役ナオミ・ワッツの映画内(劇中劇の)オーディションでみせる演技力、杵物語（映画内により小さな映画の物語が埋め込まれている）としての映画技法を駆使する。
印象深いせりふ	DAN：It's kind of embarrassing but I had a dream about this place. . . . they start out that I'm in here but it's not day or night. It's kinda half night, but it looks just like this except for the light, but I'm scared like I can't tell ya. Of all people you're standing right over there by that counter. You're in both dreams and you're scared. . . . I can see his face and I hope I never see that face ever outside a dream.
授業教材用 メリット	多種多様な視点を提供するので好奇心を刺激し、考えさせる、現代的多様な視点と価値観を映し出す、日常現代英語使用なので会話練習用に使える。
授業教材用 デメリット	上映時間がやや長い、物語が難解、ねじれたストーリー、つかみどころがない、抽象的であるため理解力の高い学生だけが消化できる。
映像入手元	ポニーキャニオン(DVD/ Blu-ray)
原作の有無	無
支持反応	metacritic 評価（批評家 81、観客 8.0） Rotten Tomatoes 評価（批評家 83、観客 88）
キーワード	現実、悪夢、夢、危険、犯罪、ハリウッド、ディヴィッド・リンチ、マルホランド・ドライブ、裏社会。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。